

<最終目標> 歴史的思考力を育て、過去との対話を通じて未来を創る主体性を身につける

1	今年度の達成目標	史料読解能力と歴史的思考力を身につける 進研模試 55 以上	担当 教師
2	地理歴史科の指導戦略 <授業の指導戦略> (1) 思考する学習の展開・・・ 「覚える」のではなく「考える」活動を重視した授業を展開します。 (2) 史料読解力の育成・・・ 多くの史料を読むことで、事実在即した思考力を身につけます。 (3) 事実に基づく歴史観の形成 (4) 学び合いの重視・・・ 生徒同士の学び合いを重視した授業を展開します。 <授業外の指導戦略> (1)進研模試・・・ 年3回(11月、1月、2月)実施されます。 (2)河合模試・・・ 2月に実施されます。	事実在即し、論理的な意見を組み立て発信する力を育てます。 生徒同士の学び合いを重視した授業を展開します。	
3	指導教科書	世界史 B（東京書籍）	
4	補助教材	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店） 書き込みノート世界史（学研） そのまま出る世界史の問一答（三省堂） はじめる世界史（Z会出版）	
5	評価・評定の方法	(1) 日頃の観察や小テストなどで「15点/15%換算」します。 (2) 定期考査で「100点満点/85%換算」します。 (3)評価の観点（4項目） ＊社会的事象への関心・意欲・態度 ＊社会的な思考・判断・表現 ＊資料活用の技能 ＊社会的事象についての知識・理解	

<<生徒諸君へ>>

- (1) 「家庭学習」・・・宿題、復習を必ず行い、ノートを毎日提出させてください。
- (2) 「持ち物」・・・教科書、ノート、資料集、ファイル、辞書（電子辞書可）を持参させてください。

地理歴史科指導計画

	教科行事	世界史 B	内容	達成目標(Can-Do)
4月		序章 文明以前の人類 第1章 オリエン特世界と東地中海世界	古代の各地域の文明の形成とその特徴を学ぶとともに、古代の社会と戦争の関係について、史料をもとに考察する。	○ 古代の各地域の文明の特徴について説明できる。
5月	中間考査	第1章 オリエン特世界と東地中海世界 第2章 地中海世界と西アジア	古代ギリシア・ローマ史の学習を通して、社会と戦争の関係について、史料をもとに考察する。	○ 戦争が古代ギリシア社会に与えた影響について説明し、戦争と古代民主主義との関係について自分の意見を述べるができる。 ○ 古代ローマ社会における戦争が果たした役割を説明し、社会のあり方について自分の意見を述べるができる。
6月		第3章 南アジア世界 第4章 東アジア世界	古代インド・中国史の学習を通して、身分や民族について、史料をもとに考察する。	○ 古代インド社会の中でカースト制度が成立する過程について説明できる。 ○ 中国古代史を異民族との関係から説明できる。
7月	期末考査 夏季講習 I	第4章 東アジア世界	秦漢帝国について学習し、社会の変化について、史料をもとに考察する。	○ 郡県制と郡国制の違いなどの統治方法の変化や儒教との関係の変化について説明できる。
8月	夏季講習 II			
9月		第4章 東アジア世界	魏晋南北朝時代から隋唐時代の中国について、史料をもとに学習する。	○ 分裂と統一を繰り返す4世紀から10世紀の中国史の展開を説明できる。
10月		第4章 東アジア世界 第6章 東南アジア世界	冊封体制下の中国と周辺諸国との関係について、史料をもとに考察する。	○ 冊封体制下での中国と周辺諸国にとってのメリットについて説明できる。
11月	中間考査 I	第8章 イスラーム世界の形成 第10章 東アジア世界の変容とモンゴル帝国	イスラーム教の成立と発展について学習する。 宋元時代の中国について学習する。	○ イスラーム教の特徴と、世界に広がった要因について説明できる。 ○ 宋元時代の中国と周辺民族との関係を説明し、中国社会に与えた影響について説明できる。
12月	中間考査 II	第9章 ヨーロッパ世界の形成	中世ヨーロッパ世界の特徴について、史料をもとに学習する。	○ 中世社会形成とキリスト教徒の関係について説明できる。
1月		第9章 ヨーロッパ世界の形成	十字軍遠征と中世社会に与えた影響について、史料をもとに学習する。	○ 十字軍遠征が中世社会に与えた影響について説明できる。 ○ 中世社会の多様性について説明できる。
2月		第9章 ヨーロッパ世界の形成 第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 大交易時代	各地域が結びついていく過程について、それぞれの地域での状況を、史料をもとに学習する。	○ オスマン帝国・明清時代の中国・ヨーロッパ諸国が交易を通じて結びついていく過程を説明できる。
3月	期末考査			